

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和7年7月25日

1. 観光地域づくり法人の組織

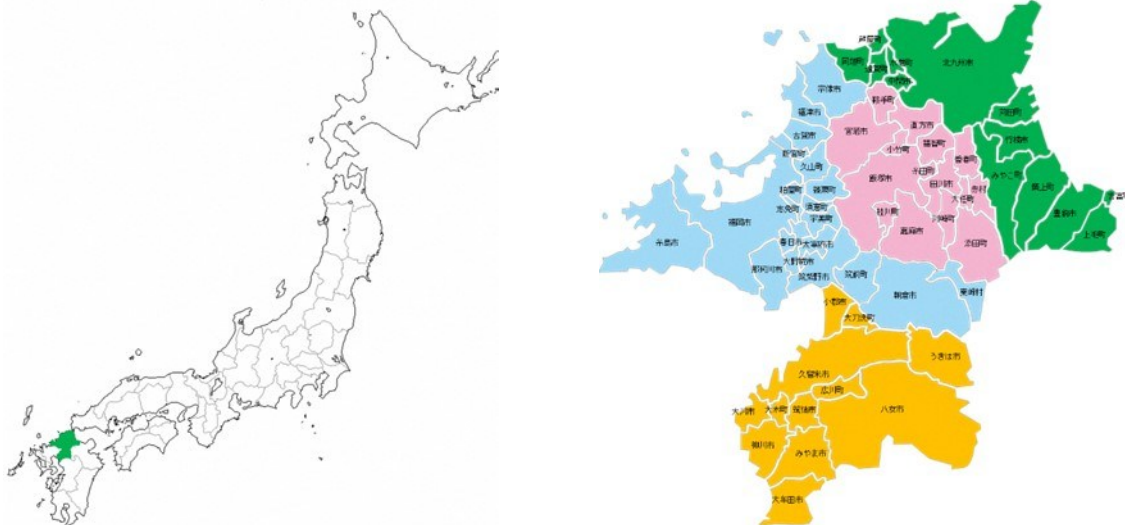
申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	(公社)福岡県観光連盟	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 福岡県	
所在地	福岡県福岡市	
設立時期	昭和21年8月17日	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	17人【常勤17人(役員2人・正職員4人・出向5人・嘱託6人)】	
代表者(トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者) ※必ず記入すること	(氏名) 林田 浩一 (出身組織名) 西日本鉄道(株)	福岡県観光連盟会長、福岡県観光審議会会長、西日本鉄道(株)代表取締役社長 西鉄ストア副社長、西日本鉄道(株)取締役などを経て、2021年4月から西日本鉄道(株)代表取締役社長に就任。 各種関係団体等との繋がりを活かし、福岡県の観光振興に貢献している。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者(CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー) ※必ず記入すること	(氏名) 山崎 円「専従」 (出身組織名) (株)JTB	(株)JTBからの派遣。観光業界の事業、商品造成、地域開発、観光地域マーケティング等に精通している。
財務責任者(CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー) ※必ず記入すること	(氏名) 佃 利之「専従」 (出身組織名) 福岡県	(公社)福岡県観光連盟常務理事兼事務局長 福岡県庁にて、事業管理、監査業務などに従事。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県商工部観光局(観光戦略、観光地域づくり、観光振興の体制強化、受入環境整備、プロモーション) ・各市町村観光担当課(観光振興全般) 	

<p>連携する事業者名 及び役割</p>	<p>・観光事業者関係団体（地域内の連絡調整、観光素材の開発、プロモーション等） 観光連盟会員団体、県内市町観光協会、福岡県観光温泉地協会、旅館ホテル生活衛生同業組合、福岡県物産振興会 【広域地域連携 DMO】（一社）九州観光機構 【地域連携 DMO】（一社）田川広域観光協会、（一社）海峡都市関門 DMO 【地域 DMO】（一財）FM 八女、（一社）うきは観光みらいづくり公社、（一社）糸島市観光協会、（一社）新宮町おもてなし協会、（協組）北九州イベントスタッフ協会、（一社）柳川市観光協会、（一社）宗像観光協会、（一社）ひかりのみち DMO 福津、（一社）嘉麻市観光まちづくり協会、（公財）福岡観光コンベンションビューロー 【候補 DMO】（一社）篠栗町観光協会</p> <p>・日本政府観光局 JNTO（プロモーション） ・その他県内の宿泊事業者、交通事業者、旅行事業者、神社、文化施設等</p>				
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する登録要件】① （概要） 県の観光振興に係る施策・方向性は、「福岡県観光審議会」において議論のうえ策定されており、本審議会の会長は当連盟の会長が務めるなど、当連盟は県の観光振興施策の立案等で中心的な役割を果たしている。そのうえで、策定された観光振興施策や方向性等に基づき、連盟の方針、事業計画等を検討し、連盟会員や外部組織に対して、その内容を諮っている。</p> <p>当連盟は、行政、宿泊施設、交通事業者、旅行会社、神社、文化施設など、地域の多様な関係団体が会員であり、企画委員会、理事会、総会等において、連盟の法人としての意思決定に参画している。</p> <p>また、エリアが重複する観光協会及び DMO とは、「福岡県観光連盟・観光協会・DMO 等連絡協議会」を通じて、事前に協議を行っている。</p> <p>その他、県が実施している「市町村観光担当課長及び市町村観光協会事務局長会議」において、連盟の取り組みについて共有している。</p>				
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>（都道府県の地域連携 DMO の場合は、記載対象外のため省略する。）</p>				
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 1498 619 1552">事業</th><th data-bbox="619 1498 1409 1552">実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 1552 619 2022"> <p>情報発信・プロモーション</p> </td><td data-bbox="619 1552 1409 2022"> <p>1 情報発信・情報提供 （1）福岡県観光情報サイト「クロスロードふくおか」による情報提供及びサイトリニューアルによる機能強化 （2）グローバルサイト「VISIT FUKUOKA」（英語・韓国語・中国語（繁体字・簡体字））による情報提供 （3）SNS を活用した情報発信 国やエリアごとに発信する媒体や内容を検討する等、SNS を戦略的に活用し情報発信を実施 ・国内（FB、Instagram、X） ・海外（FB〔英語、繁体字〕、WeChat・Weibo・Red〔簡体字〕） （4）テーマに特化したサイトや SNS を活用した情報発信・情報提供</p> </td></tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>1 情報発信・情報提供 （1）福岡県観光情報サイト「クロスロードふくおか」による情報提供及びサイトリニューアルによる機能強化 （2）グローバルサイト「VISIT FUKUOKA」（英語・韓国語・中国語（繁体字・簡体字））による情報提供 （3）SNS を活用した情報発信 国やエリアごとに発信する媒体や内容を検討する等、SNS を戦略的に活用し情報発信を実施 ・国内（FB、Instagram、X） ・海外（FB〔英語、繁体字〕、WeChat・Weibo・Red〔簡体字〕） （4）テーマに特化したサイトや SNS を活用した情報発信・情報提供</p>
事業	実施概要				
<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>1 情報発信・情報提供 （1）福岡県観光情報サイト「クロスロードふくおか」による情報提供及びサイトリニューアルによる機能強化 （2）グローバルサイト「VISIT FUKUOKA」（英語・韓国語・中国語（繁体字・簡体字））による情報提供 （3）SNS を活用した情報発信 国やエリアごとに発信する媒体や内容を検討する等、SNS を戦略的に活用し情報発信を実施 ・国内（FB、Instagram、X） ・海外（FB〔英語、繁体字〕、WeChat・Weibo・Red〔簡体字〕） （4）テーマに特化したサイトや SNS を活用した情報発信・情報提供</p>				

		<p>サイクルツーリズム (FB、Instagram)、トレイルツーリズム (特設サイト)</p> <p>(5) WEB 観光案内所運営 (英語版 FB、Instagram)</p> <p>(6) 観光情報誌の発行</p> <p>(7) マスメディア等への情報提供</p> <p>2 国内誘客事業</p> <p>(1) 九州 7 県観光素材相談会</p> <p>(2) 九州 7 県修学旅行説明会・相談会</p> <p>(3) 県内宿泊キャンペーン</p> <p>(4) 修学旅行の需要回復に向けたキャンペーン</p> <p>(5) ツーリズム EXPO ジャパンへの出展、プロモーション</p> <p>(6) 観光物産展等での観光キャンペーン</p> <p>(7) 広域観光エリアプロモーション事業 (新たな観光地域づくり事業で設定した 6 地域の PR)</p> <p>3 海外誘客事業</p> <p>(1) 旅行事業者・メディア等の招請事業</p> <p>(2) 旅行博、商談会等への出展</p> <p>(3) 現地旅行会社向けセミナーの実施</p> <p>(4) 英国日系旅行会社と連携した誘客事業 現地日系旅行会社と連携し、現地ネットワークを活かしたプロモーションを実施</p> <p>(5) 豪州マーケティング会社連携事業 現地旅行専門マーケティング会社と連携した BtoB、BtoC に向けたプロモーションを実施</p> <p>(6) 豪州学校関係者・旅行会社招請事業</p>
	受入環境の整備	<p>4 観光基盤整備事業</p> <p>(1) 人材育成</p> <p>①観光コンシェルジュ育成事業 観光案内所等の従事者を対象に、スキルアップセミナー、先進地視察研修を実施</p> <p>②観光ボランティアガイドリーダー育成事業</p> <p>③観光従事者研修会</p> <p>(2) 地域団体への支援</p> <p>①県内 4 地区観光協議会、観光温泉地協会等への助成</p> <p>②地域の魅力を磨く観光地域づくりモデル事業 魅力ある観光資源の創出に取り組む地域に対し、県と共同で、現地での助言等による観光資源の磨き上げを支援</p> <p>(3) 中核拠点整備支援 新たな観光地域づくり事業で設定した 6 地域の関係市町村・観光協会等と共同で、エリア内及びエリア間の周遊促進のため情報発信拠点を県内 10 か所に整備</p> <p>(4) FUKUOKA サイクリングツアーコンシェルジュ開設 サイクリングツアーを造成する旅行会社などに向けたワンストップサポート機能を全国に先駆けて開設</p>

	<p>観光資源の磨き上げ</p> <p>5 観光地域づくり支援事業</p> <p>(1) 新たな観光地域づくり推進事業（筑前玄海エリア） テーマ毎に設定された「広域観光エリア※」のうち、「筑前玄海エリア」において、県内で最大の水揚げ量を誇る「イカ」にスポットをあて、イカグルメの開発、フェアの開催等、新たな観光素材の開発</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※「広域観光エリア」について 複数市町村にまたがる県内6地域のエリア毎にテーマを設定し、体験プログラムの磨き上げ、旅行商品造成等を県と協働して実施している。</p> <p>＜設定エリアとテーマ＞ 「久留米・うきは・朝倉エリア」（ヘルス＆ビューティー）、「八女・筑後・広川エリア」（クラフト）、「筑前玄海エリア」（イカ）、「飯塚・嘉麻・桂川エリア」（エネルギーの源）、「京築エリア」（鬼すごい）、「日田英彦山線沿線エリア」（日田英彦山線沿線地域の振興）</p> </div> <p>(2) サイクルツーリズム推進事業 (3) 九州オルレ支援 (4) 地域の魅力を磨く観光地域づくりモデル事業</p>																									
	<p>【定量的な評価】</p> <table border="1" data-bbox="434 1025 1407 1395"> <thead> <tr> <th></th><th>2021年 (R3)</th><th>2022年 (R4)</th><th>2023年 (R5)</th><th>2024年 (R6)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外国人入国者数</td><td>0.6万人</td><td>40万人</td><td>283万人</td><td>396万人</td></tr> <tr> <td>県内延べ宿泊者数</td><td>962万人</td><td>1,399万人</td><td>2,112万人</td><td>2,316万人</td></tr> <tr> <td>県内延べ宿泊者数 (外国人)</td><td>10万人</td><td>61万人</td><td>504万人</td><td>692万人</td></tr> <tr> <td>Webサイトアクセス 件数</td><td>163万セッション</td><td>260万セッション</td><td>355万セッション</td><td>688万セッション</td></tr> </tbody> </table>		2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	外国人入国者数	0.6万人	40万人	283万人	396万人	県内延べ宿泊者数	962万人	1,399万人	2,112万人	2,316万人	県内延べ宿泊者数 (外国人)	10万人	61万人	504万人	692万人	Webサイトアクセス 件数	163万セッション	260万セッション	355万セッション	688万セッション
	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)																						
外国人入国者数	0.6万人	40万人	283万人	396万人																						
県内延べ宿泊者数	962万人	1,399万人	2,112万人	2,316万人																						
県内延べ宿泊者数 (外国人)	10万人	61万人	504万人	692万人																						
Webサイトアクセス 件数	163万セッション	260万セッション	355万セッション	688万セッション																						
<p>実施体制</p> <p>※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。</p>	<p>【実施体制の概要】</p> <p>当連盟が主体となり、地域の多様な関係団体が参画する企画委員会や、理事会、総会を通じて合意形成を図っている。また、エリアが重複する観光協会及びDMOとは、「福岡県観光連盟・観光協会・DMO等連絡協議会」を通じて、事前に協議を行っている。</p> <p>その他、県が実施している「市町村観光担当課長及び市町村観光協会事務局長会議」においても、連盟の取り組みについて共有している。</p> <p>【実施体制図】 別添のとおり。</p>																									
<p>2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域</p>																										

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

福岡県全域

これまで、県・市町、観光関連団体、観光事業者等で一体となって国内外からの誘客促進に取り組んできており、福岡県全体を対象区域として設定。

【観光客の実態等】

2024年の県内延べ宿泊者数は2,316万人で前年比109%、インバウンドにおいては、前年比137%の692万人と過去最高を記録し、外国人観光客にけん引される形で、観光客の賑わいが本格化している。

旅行消費額もコロナ禍前の2019年比で133%の伸びを示しており回復傾向が顕著となっている。その他として、来訪者の満足度は88.2%と高い数字が示されたもののリピーター率においては前年度と同じであったことから更なる観光資源の開発や観光地の魅力づくりの推進を図る必要がある。

	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)
延べ宿泊者数 【万人泊】	1,673	2,042	1,059	962	1,399	2,112	2,316
延べ宿泊者数 (外国人) 【万人泊】	337	426	62	10	61	504	692
旅行消費額 【億円】	9,253	9,934	3,239	2,692	5,519	9,659	13,252
来訪者満足度	71.0%	73.8%	80.4%	81.5%	87.5%	87.7%	88.2%
リピーター率	53.9%	59.5%	67.1%	72.6%	63.8%	65.6%	65.6%

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

これらの観光資源等を県内観光周遊促進のコンテンツとして活用。

地域	商業施設等	自然環境・レジャー	歴史・文化	食・特産品
北九州	<ul style="list-style-type: none"> ・リバーウォーク北九州 ・旦過市場 ・ぶどうの樹 ・道の駅「豊前おこしかけ」 ・うみでらす豊前 ・ジ アウトレット北九州 ・スペースLABO ・北九州グローバルゲートウェイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・平尾台 ・血倉山 ・関門海峡・門司港レトロ地区 ・いのちのたび博物館 ・九州鉄道記念館 ・河内藤園 ・遠賀川 ・はまゆう群生地 ・千畳敷 ・波津海水浴場 ・芦屋海浜公園 ・求菩提山 ・森林セラピー基地（求菩提山） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小倉城・小倉城庭園 ・官営八幡製鐵所関連施設 ・小倉祇園太鼓 ・黒崎祇園山笠 ・戸畑祇園大山笠 ・北九州市漫画ミュージアム ・西日本工業倶楽部 ・芦屋釜の里 ・遠賀川水源ポンプ室 ・旧蔵内邸 ・豊前修験道 ・京築神楽 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊前海一粒かき ・関門海峡たこ ・あしやんいか ・豊前本ガニ ・合馬たけのこ ・門司港焼カレー ・焼うどん ・戸畑ちゃんぽん ・小倉織 ・水巻でかにんにく ・ジビエ料理 ・とよみつひめ（いちじく） ・ネジチョコ ・豊前オニメン
福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡タワー ・JR博多シティ ・キャナルシティ博多 ・ONE FUKUOKA BLDG. ・博多リバレイン ・ベイサイドプレイス博多 ・ららぽーと福岡 ・キッザニア福岡 ・博多座 ・柳橋連合市場 ・長浜鮮魚市場 ・道の駅むなかた ・あんずの里市 ・JA糸島伊都菜彩 ・道の駅 小石原 	<ul style="list-style-type: none"> ・脊振山系 ・油山 ・志賀島 ・能古島 ・海の中道海浜公園 ・シーサイドももち ・大濠公園 ・PayPay ドーム ・宝満山 ・二日市温泉 ・中ノ島公園 ・五ヶ山クロス ・若杉山 ・森林セラピー基地複葉 ・相島 ・薬王寺温泉 ・芥屋の大門 ・二見ヶ浦 ・白糸の滝 ・カキ小屋 ・原鶴温泉 ・三連水車 ・かがみの海 ・博多温泉 ・アドベンチャーバレーFUKUOKA ・フォレストアドベンチャー糸島 ・フォレストアドベンチャー油山 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡城跡 ・香椎宮 ・博多どんたく港まつり ・博多祇園山笠 ・福岡県立美術館 ・大濠公園能楽堂 ・福岡市美術館、博物館 ・福岡アジア美術館 ・櫛田神社 ・宮崎宮 ・大野城跡、水城跡 ・太宰府天満宮、大宰府政庁跡 ・九州国立博物館 ・四王寺山 ・宇美八幡宮 ・南蔵院（釈迦涅槃像） ・篠栗四国霊場「八十八か所」 ・旧志免館所壁抗櫓 ・沖ノ島、宗像大社 ・宮地嶺神社 ・新原・奴山古墳群 ・津屋崎千軒 ・雷山千如寺大悲王院 ・櫻井神社 ・秋月城下町 ・大刀洗平和記念館 ・小石原焼伝統産業会館 	<ul style="list-style-type: none"> ・辛子明太子 ・博多とんこつラーメン ・博多うどん ・屋台グルメ ・もつ鍋 ・水炊き ・梅ヶ枝餅 ・博多織 ・博多人形 ・博多曲物 ・木うそ ・鐘崎天然とらふく ・相島真珠 ・鯛茶漬 ・津屋崎人形 ・マルティグラス ・博多もずく ・ごまさば ・スイゼンジノリ ・小石原焼 ・一本槍（イカ）
筑後	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅たちばな ・うなぎの寝床 ・道の駅うきは ・道の駅おおき 	<ul style="list-style-type: none"> ・船小屋温泉 ・柳田 ・恋ぼたる（温泉） ・池の山荘・星の温泉館きらら ・八女中央大茶園 ・日向神溪 ・筑後川 ・耳納連山 ・筑後川温泉 ・有明海 ・柳川川下り ・長田鉱泉 	<ul style="list-style-type: none"> ・八女古墳群 ・水田天満宮（恋木神社） ・黒木の大藤 ・星の文化館 ・八女伝統工芸館 ・八女福島・黒木の町並み ・筑後川昇開橋 ・石橋美術館 ・吉井の白壁の町並み ・今村カトリック教会 ・如意輪寺（かえる寺） ・成田山久留米分院 ・高良大社 ・清水寺 ・御花 ・三池炭鉱跡、三池 ・さげもんめぐり ・おおむた「大蛇山」まつり 	<ul style="list-style-type: none"> ・八女茶 ・久留米餅 ・八女福島仏壇 ・八女提灯 ・大川家具 ・大川組子 ・藍胎漆器 ・焼き鳥 ・日本酒（城島・三瀬） ・とんこつラーメン ・ワラスボ等の有明海特産魚 ・うなぎのせいろ蒸し ・有明のり ・えつ ・あまおう（いちご） ・かき、なし、もも、ぶどう
筑豊	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅うすい ・道の駅おおう桜街道 ・道の駅歓遊舎ひこさん 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠賀川 ・福知山 ・脇田温泉 ・嘉穂三山（馬見山、屏山、古処山） ・K-WALL ・英彦山 ・香春岳 ・源じいの森 ・フォレストアドベンチャー添田 ・サンビレッジ茜 	<ul style="list-style-type: none"> ・直方市石炭記念館 ・直方歳時館（旧堀三太郎邸） ・王塚装飾古墳 ・旧伊藤伝右衛門邸 ・嘉穂劇場 ・英彦山神宮奉常殿、銅鳥 ・山本作兵衛炭鉱記録画 ・田川市石炭・歴史博物館 ・伊田堅抗櫓と二本煙突 ・採銅所駅舎 ・藤江氏魚楽園 ・風治八幡宮川渡り神幸祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・成金饅頭 ・直方焼きスバ ・追い出し猫 ・饅頭・菓子 ・日本酒 ・田川ホルモン鍋 ・上野焼 ・英彦山がらがら

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

福岡県内宿泊施設及び客室数

	施設数	客室数
北九州市	142	9,145
福岡市 ※2	613	40,173
政令市以外	448	14,956
福岡県全体	1,203	64,274

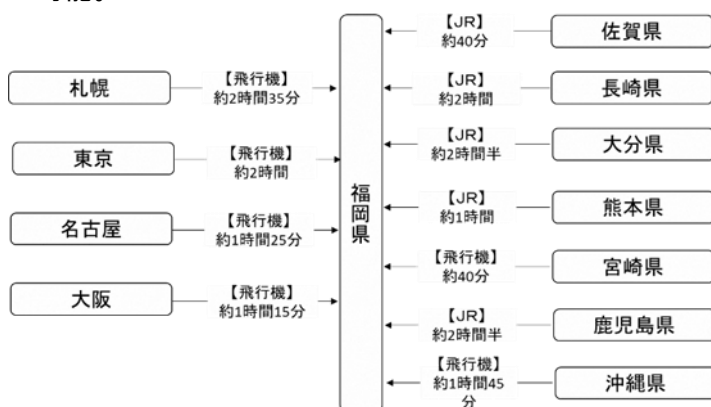
福岡県保健統計年報より

※2 福岡市統計書より

【利便性：区域までの交通、域内交通】

○区域までの交通

国内主要都市（札幌、東京、大阪、名古屋）や九州各県からののは、約 1～2 時間半程度でのアクセスが可能。



○域内交通

各地域へは鉄道やバス等の公共交通機関に加え、九州・東九州自動車道、都市高速などの高速道路も整備されており、比較的容易にアクセスが可能。



【外国人観光客への対応】

2024 年の外国人入国者数（396 万人）、外国人延べ宿泊者数（692 万人）は、ともに過去最高の数字を示し、外国人観光客にけん引される形での観光需要の回復が顕著となっている。外国人観光客の増加傾向は今後も継続が見込まれており、運営管理するグローバルサイト「Visit Fukuoka」や SNS 等を活用した市場毎に向けての観光コンテンツやヴィーガン、ムスリムフレンドリーといった特定の情報を含めた情報発信の強化。また、市町村等からの翻訳依頼による多言語案内表示の対応等を含めた受入環境整備を継続的に実施。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	観光施策の基礎資料、地域経済波及の確認のため。	法務省実施「出入国管理統計」、観光庁実施「インバウンド消費動向調査」に基づき推計
延べ宿泊者数	観光施策の基盤資料、地域経済波及の確認のため。	観光庁実施「宿泊旅行統計調査」
来訪者満足度	県内観光客に関する満足度の把握のため。	福岡県実施「観光客の周遊等の状況に関する調査」
リピーター率	県内観光客に関するリピーター率の把握のため。	福岡県実施「観光客の周遊等の状況に関する調査」
外国人入国者数	旅行・観光施策の基礎資料とするため。	毎月発表される「出入国管理統計」（出入国在留管理庁）を集計
外国船籍クルーズ船寄港数	旅行・観光施策の基礎資料とするため。	福岡市・北九州市・九州地方整備局から聞き取りし、集計
外国人旅行者の本県認知度	海外プロモーション施策の効果等の把握のため	日本政策投資銀行・日本交通公社「アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査」
定期旅客便の状況	旅行・観光施策の基礎資料とするため	福岡国際空港（FIAC）からの情報提供及び福岡県空港対策局から聞き取りし、集計
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等の把握のため	グーグルアナリティクス 4 を活用し、集計
住民満足度	旅行・観光施策の基盤資料とするため	福岡県実施「県政モニターアンケート調査」

4. 戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

福岡県では、2016年に「観光王国九州とともに輝く福岡県観光振興条例」が制定された。この条例の趣旨を踏まえ、県における観光振興を総合的かつ計画的に推進するため、2017年には、「第一次福岡県観光振興指針」が策定され、「観光資源の魅力向上」「受入環境の充実」「効果的な情報発信」「観光振興の体制強化」の４つの基本的考え方の下、観光の振興に取り組んできた。

また、2019年には、本県の観光資源の魅力向上、旅行者の受入環境の充実等の施策に要する財源を確保するため、「福岡県宿泊税条例」が制定され、本県観光の更なる振興に向けた基盤が整備されている。

一方で、近年は、インターネットやSNSの急速な普及による世界的なデジタル化の進展、旅行者の旅行形態の変化、持続可能な観光への関心の高まりなど、本県観光を取り巻く環境や社会情勢が大

きく変化している。加えて、2019年末からの世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により、本県の観光産業は深刻な打撃を受けることとなった。

コロナ禍を抜けた現在は、インバウンドの顕著な伸びにけん引される形で観光需要に本格的な回復傾向が見られ、その傾向は数字にも表れ軒並みコロナ禍以前の数字を超えて過去最高を記録している状況にある。

現在、2024年に県が策定した「第三次福岡県観光指針」を基に地域と連携しながら本県の観光の魅力を内外に発信等を行っているが、今年度末から見直しを行う予定となっており、新たな「第四次福岡県観光指針」を軸に観光需要及び観光消費の拡大等に繋がる取り組みを行うこととしている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none"> ・ 空港からの交通アクセスの良さ ・ 魅力的な食が豊富 ・ アジアの玄関口 ・ 500万人を超える人口があり、県内周遊施策が可能 ・ 欧米豪のインバウンドに人気の広島から新幹線でのアクセスの良さ 	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none"> ・ 政令市や特定の地域への観光客の集中 ・ 特定の国や地域に偏ったインバウンド ・ 大都市圏と比べインバウンドの旅行消費単価が低い ・ 欧米豪に対する認知度がゴールデンルートに比べ圧倒的に低い ・ 2次交通整備の遅れ
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪・関西万博の開催 ・ 西のゴールデンルートの機運醸成 ・ 大型イベント、大型スポーツイベントの開催 ・ インバウンドの更なる増加 	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネス需要回復の鈍化 ・ 国内観光地間での競争激化 ・ 九州北部豪雨等の近年頻発する自然災害

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

①国内旅行者

○第1ターゲット層 県内及び九州各県からの旅行者
○選定の理由 <ul style="list-style-type: none"> ・ 域内周遊の定着化。 ・ 宿泊者の54.6%は、県内を含む九州・山口からの宿泊者（福岡県実施 国内旅行者に関する調査結果より）であるため。
○取組方針 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県と連携し、「食べる」「遊ぶ」「泊まる」を一体的に楽しめる6つ広域観光エリアの観光コンテンツ造成支援の継続。 ・ 県内の食や温泉等魅力ある観光コンテンツを組み込んだ旅行商品造成の支援。 ・ 県と連携し、県内周遊バスツアーの造成。 ・ ホームページやSNS等を活用した情報発信の強化。

○ターゲット層 関東圏及び関西圏からの旅行者（ビジネス需要を含む）
○選定の理由 ・福岡県内の居住別宿泊者の 30.5%が関東圏（19.7%）及び関西圏（10.8%）からの旅行者（福岡県実施 国内旅行者に関する調査結果より）であるため。 ・コロナ禍からの回復傾向は鈍いものの出張を中心としたビジネス需要を見込めるため。
○取組方針 ・県と連携し、「食べる」「遊ぶ」「泊まる」を一体的に楽しめる 6 つ広域観光エリアの観光コンテンツ造成支援の継続。 ・県内の食や温泉等魅力ある観光コンテンツを組み込んだ旅行商品造成の支援。 ・県と連携し、県内周遊バスツアーの造成。 ・ホームページや SNS 等を活用した情報発信の強化。

②訪日外国人旅行者

○ターゲット層 東アジア（韓国、台湾、中国、香港）からの旅行者
○選定の理由 ・本県を訪れる訪日外国人旅行者の 8 割以上が東アジア（韓国、台湾、中国、香港）（訪日外国人に関する調査結果より）からであるため。 ・福岡空港との直行便が多く就航しており、旅行商品の造成による FIT、団体旅行ともに増加が期待できるため。
○取組方針 ・県と連携し、リピーター促進のため、新たな観光コンテンツの開発。 ・韓国及び台湾からの更なる誘客を目的としたサイクルツーリズムの推進。 ・高付加価値旅行商品の造成。 ・現地商談会や招請等によるプロモーション・セールスの継続。 ・県及び広域 DMO（九州観光機構）、九州他県とも連携し、SNS やグローバルサイトによる情報発信。
○ターゲット層 東南アジア（タイ、シンガポール 他）
○選定の理由 ・本県への訪日外国人旅行者の 8 割以上を占める東アジア（韓国、台湾、中国、香港）からの多角化を図る上で、最も増加が期待できるため。 ・福岡空港からの直行便が就航しており、旅行商品の造成による FIT、団体旅行ともに増加が期待できるため。 ・訪日外国人旅行者の関心が高い、ショッピング、日本食、日本酒を目的とした旅行者に対し、県内には多くの商業施設があること、国内有数のグルメスポットであること、また、多くの日本酒等の酒蔵を有することといった訴求要素が多く存在するため。
○取組方針 ・現地商談会や観光展示会への出展、招請事業等によるプロモーション・セールスの実施。 ・県と連携し、東南アジアからの訪日旅行者のニーズにあった観光コンテンツの開発。 ・県及び広域 DMO（九州観光機構）、九州他県とも連携し、SNS やグローバルサイトによる情報発信。
○ターゲット層 欧米豪（英国、仏国、米国、豪州）からの富裕層の旅行者
○選定の理由

- ・旅行単価が高く、宿泊日数も長く、旅行消費額の増加が期待できるため。
- ・歴史、伝統、文化に関心が高い層が多く、県内のコンテンツを活用した旅行商品造成による観光客増加が期待できるため。
- ・体験型観光への関心も高い層であるため、高付加価値な県内の体験型観光コンテンツを訴求できるため。

○取組方針

- ・レップ契約（英国、仏国、米国、豪州）により現地でのプロモーションやセールを継続実施。
- ・県と連携し、欧米豪の関心が高い体験型観光メニュー及び高付加価値旅行商品の造成。
- ・県及び広域 DMO（九州観光機構）、九州他県とも連携し、SNS やグローバルサイトによる情報発信。
- ・訪日、来県確度の高い外国人旅行者へのターゲット広告による、グローバルサイトへの誘引。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>“つながる” 福岡観光 （「第三次福岡県観光振興指針」（2024～2026 年））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回復するインバウンド需要の本県への着実な取り組み ・リピーターの確保と県内の周遊促進 ・持続可能な観光の推進
②コンセプトの考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県は、アジアの玄関口として多くの旅行者を受け入れており、空港からのアクセスの良さも大きな魅力となっている。また、500 万人を超える人口があり、その約半数が政令市に集中しており、政令市を発地とした県内周遊の施策を打ちやすいという強みがある。 ・インバウンドにおいて地理的優位性から韓国、台湾からの訪日観光客の回復が著しい状況にあり、今後、他地域からも更なる誘客を目指す。 ・県内各地域のブランドが強くなる取組みを後押しすることで、県内の周遊を促進・県全体の旅行者数を増加・分散させ、拡大を続ける世界の観光市場の活力を本県に取り込むことにより、旅行消費額が継続的に拡大し、県内各地の観光産業の発展と地域活性化、雇用の創出につながっている状態を目指す。 ・観光地域づくりにおいて、旅行者の満足度を高めること、環境問題など観光振興による地域コミュニティへの負荷が可能な限り小さくなることにも同時に取り組み、地域住民にとっても暮らしやすい地域となることで持続可能な観光の推進を目指す。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	<p>当連盟が実施する企画委員会（年1回）、理事会（年3回）、総会（年1回）において、多様な関係者や連盟の会員と戦略を共有している。</p> <p>また、エリアが重複する観光協会及びDMOとは、「福岡県観光連盟・観光協会・DMO等連絡協議会」（年1回）を通じて、事前に協議を行っている。</p> <p>なお、市町村観光協会及び県内DMOと月1回のペースでオンラインを活用した会議によりイベントや現状についての情報共有も実施している。</p> <p>その他、県が実施している「市町村観光担当課長及び市町村観光協会事務局長会議」（年1回）においても、連盟の取り組みについて共有している。</p>
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<p>以下の取組みにより、旅行者に提供するサービスの維持・向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村、観光協会、観光事業者、地元住民等で構成された協議会が行う観光地域づくりに専門家として支援する。 ・当連盟が事務局を担う市町村及び観光協会で構成された「福岡県サイクルツーリズム推進協議会」を通じて、市町村・観光協会によるモデルプランの作成等を支援し、サイクルツーリズム推進に寄与する。 ・観光案内所スタッフ向けの、おもてなし力向上などスキルアップ研修や新しい生活様式を取り入れたボランティアガイドマニュアルを活用したボランティアガイドリーダー育成研修及び広く観光従事者、当連盟会員を対象に、効果的な情報発信や分析、現地視察等の研修を実施する。 <p>また、参加者アンケート等の結果を基に、県とともに事業の評価、改善等を実施する。</p>
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<p>本県の認知度向上、東南アジアや欧米豪等からの更なる誘客を図るため、県、県内の地域DMO、観光協会等と連携して、県内の情報を集約し、福岡県観光情報サイト「クロスロードふくおか」及びグローバルサイト「Visit Fukuoka」、SNS（FB、Instagram、X）等、それぞれの国や地域で影響力のあるデジタル媒体を活用したプロモーション及び情報発信を行う。合わせて、海外旅行者の興味を引くような魅力的な素材についてJNTO及び、特に九州一体でPRするものは一般社団法人九州観光機構に情報提供を行う。</p>

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. K P I（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

（１）必須K P I

指標項目		2022 (R 4)	2023 (R 5)	2024 (R 6)	2025 (R 7)	2026 (R 8)	2027 (R 9)
●旅行消費額 (百万円)	目標	510,600 (81,900)	752,000 (137,900)	993,400 (193,800)	1,037,000 (195,105)	1,220,000 (340,000)	目標 数値の 見直し を検討中
	実績	551,915 (－)	965,900 (271,000)	1,325,200 (396,500)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	12,250 (200)	16,130 (2,030)	20,420 (4,260)	21,730 (4,790)	23,440 (5,720)	
	実績	13,994 (606)	21,120 (5,040)	23,160 (6,920)			
●来訪者満足度 (%)	目標	80.5 (－)	82.8 (－)	85.0 (－)	85.0 (－)	90.0 (97.0)	
	実績	87.5 (－)	87.7 (94.9)	88.2 (87.9)			
●リピーター率 (%)	目標	61.0 (－)	62.0 (－)	63.0 (－)	64.0 (－)	70.0 (－)	
	実績	63.8 (－)	65.6 (40.1)	65.6 (42.3)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

福岡県が2019年に策定した「第二・第三次福岡県観光振興指針」及び2021年度に策定した「福岡県総合計画」の指標の目標値等を基に必須KPIを設定。なお、「来訪者満足度」については、本計画独自の目標として設定。

なお、「福岡県観光振興指針」「福岡県総合計画」等、県の観光振興に係る施策・方向性は、福岡県観光審議会において議論のうえ策定されており、本審議会の会長は当連盟の会長が務めている。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

①訪日外国人（通常入国）、②訪日外国人（クルーズ船入国）、③日本人（宿泊客）、④日本人（日帰り）ごとに算出し合計したもの。2024年、2025年は、2016年～2019年までの増加ベースと同様に増加すると想定し目標値を設定。なお、訪日外国人分は、2019年に政治的な事情により過去4年間で最も落ち込んだため、2016年～2018年までの増加ベースと同様に増加すると想定し目標値を設定。

2026年の日本人分は、コロナ前の過去5年で最も多かった2019年から約10%増加すると想定し目標値設定。訪日外国人分は、第三期九州観光戦略第一次アクションプランに合わせ、2019年から約75%増加させる目標値設定。

2027年分については、福岡県観光振興指針（第四次）の見直しの年度であり、また、指針の数値目標を上回っている現状を踏まえ、数値目標の見直しを検討中。

●延べ宿泊者数

①日本人、②訪日外国人ごとに算出したものを合計。2024 年、2025 年は、2016 年～2019 年までの増加ペースと同様に増加すると想定し目標値を設定。

2026 年の日本人分は、コロナ前の過去 5 年で最も多かった 2019 年から約 10%増加すると想定し目標値設定。訪日外国人分は、第三期九州観光戦略第一次アクションプランに合わせ、2019 年から約 34%増加させる目標値設定。

2027 年分については、福岡県観光振興指針（第四次）の見直しの年度であり、また、指針の数値目標を大きく上回っている現状を踏まえ、数値目標の見直しを検討中。

●来訪者満足度

アンケート調査（福岡県観光入込客調査）において、総合満足度についての回答結果のうち、「大変良い」「良い」の回答率。2024 年、2025 年は、2016 年の実績 78.5%から約 10%増となる「85.0%」に目標値を設定。

2026 年は、アンケート調査（福岡県「観光客の実態調査」）による 2022 年実績から日本人 87.5%から 2.5 ポイント増、訪日外国人 94.9%から 2.1 ポイント増とする目標値設定。

2027 年分については、福岡県観光振興指針（第四次）の見直しの年度であり、目標数値を検討中。

●リピーター率

アンケート調査（福岡県観光入込客調査）において、過去 3 年間の福岡県の訪問回数を「2 回以上」と回答した県外居住者の割合。2016 年から 2019 年までの平均増加ペースをやや上回る 1%を、

2019 年の実績 59.5%を起点に、コロナ禍の 2020 年、2021 年を除いた年で毎年増加させ、2024 年に 63.0%、2025 年に 64.0%とすることを目標値に設定。

2026 年は、アンケート調査（福岡県観光ビッグデータ調査）において、2022 年の実績 68.1%から 1.9 ポイントと増の 70.0%を目標値に設定。

2027 年分については、福岡県観光振興指針（第四次）の見直しの年度であり、目標数値を検討中。

（２）その他の目標

指標項目		2022 (R 4)	2023 (R 5)	2024 (R 6)	2025 (R 7)	2026 (R 8)	2027 (R 9)
●WEBサイト へのアクセス数 (万セッション)	目 標	234 (－)	306 (－)	377 (－)	449 (－)	520 (－)	目標数値 の見直し を検討中
	実 績	260 (45)	355 (50)	688 (120)			
●住民満足度 (%)	目 標	70.0 (－)	70.0 (－)	70.0 (－)	70.0 (－)	70.0 (－)	
	実 績	58.9 (－)	67.5 (－)	70.6 (－)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

福岡県が 2019 年に策定した「第二次福岡県観光振興指針」及び 2021 年度に策定した「福岡県総合計画」の指標の目標値等を基に 2 つの指標項目を設定。

【設定にあたっての考え方】

●WEB サイトへのアクセス数

都道府県観光WEB サイトの上位にある長崎県をベンチマークとしてそれを目指す。2022 年に大幅なサイト改修を予定しているため、2021 年の結果を当初値とし、5 か年目の 2026 年で改めて 520 万セッションを目標値に設定。

2027 年分については、指針の数値目標を大きく上回っている現状を踏まえ、数値目標の見直しを検討中。

●住民満足度

福岡県実施の「県政モニターアンケート調査」において、観光振興による福岡県の活気の実感について回答した結果のうち、「実感している」、「やや実感している」の回答率。

2020 年度から調査開始。過去最高値である 64.5%を上回る 70.0%を目標値に設定。

2027 年分については、県の観光指針の見直しにあわせ、目標数値を検討中。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後 3 年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去 3 年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４） 年度	376,536,308（円）	【国からの補助金】7,249,000（円） 【県からの補助金】210,578,000（円） 【特定財源（宿泊税）】132,915,000（円） 【県からの受託事業収入】1,523,000（円） 【会費収入】13,120,000（円） 【事業収入】306,813（円） 【事業負担金収入】9,411,510（円） 【その他の収入】1,432,985（円）
2023（Ｒ５） 年度	571,460,455（円）	【国からの補助金】2,395,832（円） 【県からの補助金】119,029,000（円） 【特定財源（宿泊税）】422,148,000（円） 【会費収入】13,990,000（円） 【事業収入】313,697（円） 【事業負担金収入】11,596,000（円） 【その他の収入】1,987,926（円）
2024（Ｒ６） 年度	564,316,047（円）	【国からの補助金】2,960,040（円） 【県からの補助金】119,033,000（円）

		【特定財源（宿泊税）】408,963,000（円） 【会費収入】14,660,000（円） 【事業収入】306,626（円） 【事業負担金収入】18,291,303（円） 【その他の収入】102,078（円）
2025（R7） 年度	622,361,000（円）	【国からの補助金】11,164,000（円） 【県からの補助金】33,305,000（円） 【特定財源（宿泊税）】562,762,000（円） 【会費収入】14,920,000（円） 【事業収入】200,000（円） 【その他の収入】10,000（円）
2026（R8） 年度	582,463,000（円）	【県からの補助金】33,305,000（円） 【特定財源（宿泊税）】534,028,000（円） 【会費収入】14,920,000（円） 【事業収入】200,000（円） 【その他の収入】10,000（円）
2027（R9） 年度	582,463,000（円）	【県からの補助金】33,305,000（円） 【特定財源（宿泊税）】534,028,000（円） 【会費収入】14,920,000（円） 【事業収入】200,000（円） 【その他の収入】10,000（円）

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2022（R4） 年度	376,536,308（円）	【一般管理費】3,812,273（円） 【情報発信・プロモーション】199,557,885（円） 割合：国内 54%海外 46% 【修学旅行支援】40,752,182（円） 【インバウンド周遊支援】48,207,116（円） 【受入環境整備等の着地整備】40,388,834（円） 【研修・セミナー開催費】24,564,855（円） 【コンテンツ開発】18,384,830（円） 【負担金】770,000（円）
2023（R5） 年度	570,338,728（円）	【一般管理費】3,709,707（円） 【情報発信・プロモーション】213,167,693（円） 割合：国内 41%海外 59% 【修学旅行支援】50,189,090（円） 【宿泊支援】238,817,880（円） 【受入環境整備等の着地整備】15,088,234（円）

		【研修・セミナー開催費】10,275,451（円） 【コンテンツ開発】35,924,841（円） 【外部専門人材の登用】2,395,832（円） 【負担金】770,000（円）
2024（R6） 年度	561,952,085（円）	【一般管理費】4,145,039（円） 【情報発信・プロモーション】265,845,937（円） 割合：国内39%海外61% 【修学旅行支援】54,648,707（円） 【宿泊支援】175,512,328（円） 【受入環境整備等の着地整備】43,101,693（円） 【研修・セミナー開催費】9,843,600（円） 【コンテンツ開発】5,554,188（円） 【外部専門人材の登用】2,960,040（円） 【負担金】770,000（円）
2025（R7） 年度	622,361,000（円）	【一般管理費】4,222,000（円） 【情報発信・プロモーション】264,750,000（円） 割合：国内23%海外77% 【修学旅行支援】54,930,000（円） 【宿泊支援】199,999,000（円） 【受入環境整備等の着地整備】68,160,000（円） 【研修・セミナー開催費】9,723,000（円） 【コンテンツ開発】17,593,000（円） 【外部専門人材の登用】2,214,000（円） 【負担金】770,000（円）
2026（R8） 年度	582,463,000（円）	【一般管理費】4,222,000（円） 【情報発信・プロモーション】232,585,000（円） 割合：国内26%海外74% 【修学旅行支援】55,482,000（円） 【宿泊支援】202,008,000（円） 【受入環境整備等の着地整備】68,845,000（円） 【研修・セミナー開催費】9,821,000（円） 【コンテンツ開発】8,730,000（円） 【負担金】770,000（円）
2027（R9） 年度	582,463,000（円）	【一般管理費】4,222,000（円） 【情報発信・プロモーション】232,585,000（円） 割合：国内26%海外74% 【修学旅行支援】55,482,000（円） 【宿泊支援】202,008,000（円）

	<p>【受入環境整備等の着地整備】 68,845,000（円）</p> <p>【研修・セミナー開催費】 9,821,000（円）</p> <p>【コンテンツ開発】 8,730,000（円）</p> <p>【負担金】 770,000（円）</p>
--	--

（３）自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

当連盟は、県と密接に連携しながら観光振興事業を実施している。

- ①観光振興特定財源としての宿泊税の活用
- ②県補助金
- ③会費収入の安定維持
- ④WEB サイトの広告収入確保

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

福岡県は、持続可能な観光先進県として、観光地域づくりに注力しているところ。
これを持続的な取組みとし、より専門性を高めた体制で取り組むため、（公社）福岡県観光連盟を本県における地域連携DMOとして登録したいので当該法人とともに申請します。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

エリアが重複する観光協会及びDMOとは、「福岡県観光連盟・観光協会・DMO等連絡協議会」を通じて、事前に協議を行っている。また、県が実施している「市町村観光担当課長及び市町村観光協会事務局長会議」においても、連盟の取り組みについて共有している。

なお、月1回のペースでオンラインを活用した会議により地域DMO及び観光協会とイベントや現状について共有を行っている。

【区域が重複する背景】

当連盟は福岡県全域をマネジメントエリアとしているため、県内の地域連携DMO及び地域DMOとエリアが重複している。

【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

当連盟は、福岡県と緊密に連携し福岡県全域の観光振興に取り組んでおり、戦略に基づきプロモーション（インバウンド、県外居住者、政令市からの県内周遊など）や情報発信、受入環境の整備、観光資源の磨き上げ等を通じて、福岡県の観光地域づくりを行っている。一方、県内のDMOは地域の多様な関係者と連携し、各地域に密着した取り組みを行っているため、役割分担ができています。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

前述の「福岡県観光連盟・観光協会・DMO等連絡協議会」等を通じて、県内のDMOとの連携を深め、また事業内容を共有することで、適切な役割分担と効率的・効果的な事業遂行を行い、福岡県の観光振興に寄与していく。

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	大宮 誠
担当部署名（役職）	企画管理部（部長）
郵便番号	812-8577
所在地	福岡県福岡市博多区東公園 7-7
電話番号（直通）	092-645-0019
FAX番号	092-645-0020
E-mail	kikaku01@visitfukuoka.jp

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	福岡県
担当者氏名	神代 弥早樹
担当部署名（役職）	福岡県商工部観光局観光政策課（主任主事）
郵便番号	802-8577
所在地	福岡県福岡市博多区東公園 7-7
電話番号（直通）	092-643-3419
FAX番号	092-643-3431
E-mail	kanko@pref.fukuoka.lg.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】 福岡県

【設立時期】 昭和21年8月17日

【設立経緯】 ③区域の観光協会がDMOに移行

【代表者】 林田 浩一

【マーケティング責任者(CMO)】 海外誘客推進部長 山崎 円

【財務責任者(CFO)】 常務理事兼事務局長 佃 利之

【職員数】 17人(常勤17人(正職員4人・出向等13人))

【主な収入】

559百万円(特定財源(宿泊税)408百万円、県補助金119百万円、
会費収入14百万円、負担金18百万円)(6年度決算)

【総支出】

556百万円(事業費551百万円、一般管理費4百万円)(6年度決算)

【連携する主な事業者】

福岡県、各市町村観光担当課、観光連盟会員団体、県内市町村観光
協会及びDMO、各観光関連団体

KPI(実績・目標)

記入日: 令和7年7月25日

※()内は外国人に関するもの。

項目		2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)
旅行 消費額 (百万円)	目標	510,600 (81,900)	752,000 (173,900)	993,400 (193,800)	1,037,000 (195,105)	1,220,000 (340,000)	目標 数値の 見直し を検討中
	実績	551,915 (-)	965,900 (271,000)	1,325,200 (396,500)	—	—	
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	12,250 (200)	16,130 (2,030)	20,420 (4,260)	21,730 (4,790)	23,440 (5,720)	
	実績	13,994 (606)	21,120 (5,040)	23,160 (6,920)	—	—	
来訪者 満足度 (%)	目標	80.5 (-)	82.8 (-)	85.0 (-)	85.0 (-)	90.0 (97.0)	
	実績	87.5 (-)	87.7 (94.9)	88.2 (87.9)	—	—	
リピーター率 (%)	目標	61.0 (-)	62.0 (-)	63.0 (-)	64.0 (-)	70.0 (-)	
	実績	63.8 (-)	65.6 (40.1)	65.6 (42.3)	—	—	

戦略

【主なターゲット】

(国内旅行者)

①県内及び九州域内 ②関東圏及び関西圏

(外国人旅行者)

①東アジア(中国、香港、台湾、韓国)

②東南アジア(タイ、シンガポール、マレーシア)

③欧米豪(米、英、仏、豪)

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

県と連携し、「食べる」、「遊ぶ」、「泊まる」を一体的に楽しめる、新たな観光エリアの創出

【観光地域づくりのコンセプト】

“つながる”福岡観光(第三次福岡県観光振興指針)

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

・新たな観光地域づくり推進事業

(筑前玄海エリア)

・地域の魅力を磨く観光地域づくり
モデル事業

【受入環境整備】

・観光コンシェルジュ育成事業

・観光ボランティアガイドリーダー
育成事業

・中核拠点整備支援事業

・FUKUKAサイクリングツアー

コンシェルジュ開設 等

【情報発信・プロモーション】

・福岡県観光情報サイトの管理運営

・グローバルサイトの管理運営

・SNSを活用した情報発信

・県内宿泊キャンペーン

・修学旅行の需要回復に向けた
キャンペーン

・広域観光エリアプロモーション

・海外旅行博覧会、相談会等への
出展・参加

・海外修学旅行誘致事業

・英国、豪州レップ事業 等

